



2022 年 9 月 2 日

各 位

会社名：株式会社じもとホールディングス
(コード番号：7161 東証スタンダード市場)
代表者名：取締役社長 鈴木 隆
問合せ先：常務取締役総合企画部長 尾形 毅
(TEL. 022-722-0011)

**2023 年 3 月期第 2 四半期および通期連結業績予想の修正、
並びに配当予想の修正、役員報酬の減額に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2022 年 5 月 13 日に公表いたしました 2023 年 3 月期第 2 四半期および通期の連結業績予想および配当予想について、下記のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

併せて、当社および連結子会社である株式会社きらやか銀行および株式会社仙台銀行においては、業績予想および配当予想の下方修正にかかわる経営責任を明確にするため、役員報酬を減額いたしますのでお知らせいたします。

なお、今回の業績予想見直しを踏まえ、喫緊の経営課題に対して抜本的な改善策に取組み、早期の業績回復を実現するため、別途「じもとグループ業績回復への取組み」を策定し、本日公表しております。詳しくは、本日公表しました資料をご参照ください。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2023 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022 年 4 月 1 日～
2022 年 9 月 30 日）

	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,000	百万円 1,300	円 銭 54.47
今回修正予想 (B)	△1,700	△4,900	△234.54
増減額 (B－A)	△3,700	△6,200	
増減率 (%)	△185.0	△476.9	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2022 年 3 月期第 2 四半期)	2,395	1,604	68.67

(2) 2023 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,600	百万円 2,500	円 銭 104.29
今回修正予想 (B)	△800	△4,000	△198.79
増減額 (B－A)	△4,400	△6,500	
増減率 (%)	△122.2	△260.0	
(ご参考) 前期通期実績 (2022 年 3 月期)	4,486	2,585	108.29

修正の理由

株式会社きらやか銀行

以下の理由により、当社連結子会社である同行では、2023 年 3 月期第 2 四半期および通期において赤字決算を見込んでおります。

- ① 与信関係費用は、特定の大口与信先の業績不振により、当該先に関連する引当金を新たに計上することから、第 2 四半期に計画比 31 億円増加する見通しです。なお、通期では計画比 23 億円の増加となる見通しです。
- ② 同行は、北米地域や欧州地域の国債・地方債など、信用力の高い外債ファンドを保有しておりますが、海外金利の上昇により、評価損が拡大しております。このため、さらなる評価損拡大を防止するため、一時的にファンド内で日本国債などの短期の債券へ切り替えを行っています。今後、SBI グループと協議し、再度、ファンド内にて信用力の高い海外債券（北米、欧州地域の国債等）に投資を行い、その収益の一部を、評価損の解消に順次充当し、中長期的な解消に取り組んでまいります。このため、有価証券利息配当金は、第 2 四半期に計画比△5 億円、通期では計画比△13 億円となる見通しとなりました。
- ③ 抜本的な収益力の改善に向けて、中小企業営業人員の創出、並びに中長期的な運営経費の削減を目的に、店舗再編を予定しております。このため第 2 四半期にて、店舗再編に伴う固定資産の減損損失 6 億円を新たに計上する見通しとなりました。
- ④ これらの要因により、繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等調整額を第 2 四半期に計画比 20 億円、通期では計画比 19 億円を計上する見通しとなりました。

(きらやか銀行 2023 年 3 月期 第 2 四半期の主な減益要因)

		前回発表予想	今回修正予想	増減
収益	有価証券利息配当金	10 億円	5 億円	△5 億円
費用	与信関係費用	5 億円	36 億円	31 億円
	店舗減損	—	6 億円	6 億円
	法人税等調整額	1 億円	22 億円	20 億円
中間純利益		6 億円	△54 億円	△60 億円

(きらやか銀行 2023 年 3 月期 通期の主な減益要因)

		前回発表予想	今回修正予想	増減
収益	有価証券利息配当金	19 億円	6 億円	△13 億円
費用	与信関係費用	22 億円	45 億円	23 億円
	店舗減損	—	6 億円	6 億円
	法人税等調整額	—	19 億円	19 億円
当期純利益		7 億円	△49 億円	△56 億円

株式会社仙台銀行

当社連結子会社である同行は、きらやか銀行と同様に、北米地域や欧州地域の国債・地方債など、信用力の高い外債ファンドを保有しておりますが、海外金利の上昇により、評価損が拡大しております。このため、さらなる評価損拡大を防止するため、一時的にファンド内で日本国債などの短期の債券へ切り替えを行っています。

今後、SBI グループと協議し、再度、ファンド内にて信用力の高い海外債券（北米、欧州地域の国債等）に投資を行い、その収益の一部を、評価損の解消に順次充当し、中長期的な解消に取り組んでまいります。

このため有価証券利息配当金は、第 2 四半期に計画比△7 億円、通期では計画比△18 億円となる見通しとなりました。

以上の結果、両行の業績予想を修正することにより、当社連結の 2023 年 3 月期第 2 四半期および通期の業績予想についても、下方修正するものであります。

<ご参考>

(1) 子銀行（単体）の2023年3月期第2四半期（累計）業績予想の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	きらやか銀行		仙台銀行	
	経常利益	中間純利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,000	百万円 600	百万円 1,100	百万円 800
今回修正予想（B）	△2,500	△5,400	800	500
増減額（B－A）	△3,500	△6,000	△300	△300
増減率（％）	△350.0	△1,000.0	△27.2	△37.5
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年3月期第2四半期）	1,396	983	1,064	717

(2) 子銀行（単体）の2023年3月期通期業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	きらやか銀行		仙台銀行	
	経常利益	当期純利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,100	百万円 700	百万円 2,700	百万円 2,000
今回修正予想（B）	△2,200	△4,900	1,300	800
増減額（B－A）	△3,300	△5,600	△1,400	△1,200
増減率（％）	△300.0	△800.0	△51.8	△60.0
（ご参考）前期通期実績 （2022年3月期）	1,976	1,078	2,434	1,506

2. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 （2022年5月13日公表）	10円00銭	10円00銭	20円00銭
今回修正予想	7円50銭	7円50銭	15円00銭
当期実績	—	—	—
前期実績 （2022年3月期）	10円00銭	10円00銭	20円00銭

修正の理由

2023 年 3 月期の第 2 四半期および期末配当予想につきましては、今回の業績予想を踏まえ、1 株あたり 7 円 50 銭に修正させていただきます。

3. 役員報酬の減額

当社およびきらやか銀行、仙台銀行においては、今回、公表いたします 2023 年 3 月期の業績予想および配当予想の下方修正にかかわる経営責任を明確にするため、常勤役員の報酬を減額いたします。

減額幅については、当社会長が 45%、当社社長が 30%の報酬を減額とするほか、当社およびきらやか銀行、仙台銀行において、常勤役員（監査等委員を含む）を対象に、それぞれ役職に応じた報酬の減額を実施いたします。

なお、適用期間については、各社の業績改善策の進捗に応じて実施いたします。

4. 「じもとグループ業績回復への取組み」の策定について

今回の業績予想見直しを踏まえ、喫緊の経営課題に対して抜本的な改善策に取組み、早期の業績回復を実現するため、このたび「じもとグループ業績回復への取組み」を策定いたしました。

当社グループは、本取組方針のもと、各施策を徹底して実行することで収益改善を図るとともに、地元中小企業をはじめとするお取引先への支援にさらに取組み、地域の発展に貢献してまいります。

詳しくは、本日公表しました資料（「じもとグループ業績回復への取組み」の策定について）をご参照ください。

※本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上